

訃報

(元)会員 野上 泰造氏 御逝去



かねて病氣療養中でありました野上様には、薬石効なく9月7日午後2時に御逝去されました。生前中は当クラブの運営に関し多大なる功績があり、茲に感謝を申し上げ、会員一同謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

合掌



ありがとうございました

- 神谷 尚孝さん (和歌山東南R.C.) 島公造会長の時に一度メイキャップ出席させていただきたいと思っていました。ありがとうございます。
- 三毛理一朗さん 在籍五十周年記念内祝。
- 西本 亨さん 家内の誕生祝のお花ありがとうございました。
- 田原 久一さん 早く来るのも良いですね。山東さんありがとう。
- 谷口 文利さん 岩田さんお話し楽しみです。
- 山野 武彦さん 化学関係の会社に大いに貢献出来ます新製品が完成し、夏期休暇中に試運転が完了し、新聞発表されました。
- 岸裏 廣澄さん 岩田奈穂さん、本日卓話よろしくお祈りします。
- 吉田 篤生さん 家内に美しいお花をありがとうございました。
- 赤井 雅哉さん 岩田さん、卓話ありがとうございます。
- 松田 弘治さん 定期異動の内示日です。和歌山に残る事になりました。引き続き宜しくお祈りします。
- 島 公造さん 岩田奈穂さん、卓話ご苦労様です。
- 山本 進三さん 妻にきれいなお花をありがとうございました。
- 山本 進三さん 9/8のこぼと学園の夏まつり、出席できず申し訳ありません。
- 乾 敦雄さん 岩田さん卓話よろしくお祈りします。
- 阪神タイガース応援団一同  
最後まで応援お願いします。みすてないでね!!

本日の累計 90,500円(計13名 15件)(お誕生日お祝い 103,000円 皆出席表彰 10,000円 その他 573,610円 累計額 686,610円)

本日の例会 9月10日(月)P.M.6:30~ 於 ダイワロイネットホテル和歌山4F

●和歌山北R.C.との合同例会

次回の例会 9月20日(木)

●卓話「美味しい水」のふるさと風景  
奈良県川上村 森と水の源流館  
公益財団法人 吉野川紀の川源流物語  
事務局長 尾上 忠大さん

前回の例会 9月6日(木)

- クラブフォーラム「新世代」
- 卓話  
2011-2012年度青少年交換派遣生 岩田 奈穂さん
- ロータリーソング 山東 勝彦 ソング委員長  
「奉仕の理想」
- ビジター紹介 櫻畑 友洋 親睦委員長  
小倉西R.C. 内田 康起さん  
和歌山東南R.C. 神谷 尚孝さん

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日  
例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073)424-9392 例会日 木曜日 12時30分  
事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845  
会報・広報委員会 谷口 文利 笹島 良雄 野井 晋

‘確信と絆で作ろう、希望の未来へ!! 今日より一歩’

「奉仕を通じて平和を」

国際ロータリー 第2640地区 和歌山東ロータリークラブ  
URL http://www.werc.jp E-mail info@werc.jp

2012年9月10日(月)  
週報 / VOL.54 No.10(通巻2556)

会長報告

島 公造 会長



皆さんこんにちは、小倉西R.C.内田康起さん、和歌山東南R.C.神谷尚孝さん本日は我がクラブによくいらっしゃいました。有り難うございます。さて先週は年間で大きい行事の一つガバナー訪問をお受けいたしました。例会前1時間30分、話し合いをして例会。その後9クラブ会長幹事とともに、市長表敬訪問をし、無事に終わりました。話の内容は「とにかく過去のいきさつは水に流し、原点に帰ろう」を基軸に仲の良いクラブ又2640地区をロータリアン全員で築いていこう」と言うことでした。心よりガバナーの意向に沿って行きたいと思えます。

幹事報告

山本 進三 幹事



来週、9月10日(月)は和歌山北R.C.との合同例会です。  
18:30よりロイネットホテルとなっております。ご出席よろしくお祈りいたします。  
下記の案内・広報誌が届いておりますので回覧します。  
・ロータリー囲碁同好会より、「第11回ロータリー全国囲碁大会」のご案内  
・一般財団法人比国育英会バギオ基金より、バギオだより(2012年9月号 VOL.32)  
・社団法人和歌山青年会議所より、JCNEWS 9月号  
・こぼと学園より、こぼと学園だより9月号No.430  
・ロータリーの友英語版“THE ROTARY-NO-TOMO”2012-2013年度版のご案内

卓話

- You Only Live Once - 2011-2012年度青少年交換長期派遣生 岩田 奈穂さん



私は8月27日から7月22日までの約一年間、アメリカのミネソタ州というところへロータリーの交換留学生として滞在させていただきました。高校一年生の時に修学旅行としてカナダへ行ったことしかなかった私は、ミネソタへ出発する前は不安でした。また出発の少し前に、最初のホストファミリーには15、16、17、18歳の4人の男の子がいると聞かされてさらに不安が募りました。しかし、ミネアポリス空港に着いたら、最初と二番目、両方のホストファミリーが温かく出迎えてくれていました。皆本当に優しく、出国する前の不安が一気になくなったのを覚えています。

最初のホストファミリーは2つ家を持っていて、簡単に言うと、普通の家と夏用の家です。私が行ったときはまだ夏用の家の方に住んでいて、その家には湖もありほぼ毎日ボートに乗ったり泳いだりしていました。私その湖が一番好きだったことはwake boardingです。ボートに紐でスノーボードのようなものをくくりつけ、水の上を滑るといったものです。私は今までしたことがなくて、最初はずぐに転んでしまいましたが15分もやって

出席報告

会員数 44名(内出席規定適用免除会員16名) 山東 勝彦 出席委員長

9月6日(本 日)	28名	73.7%	8月23日(メーキャップ後)	33名	91.7%	(欠席3名)
-----------	-----	-------	----------------	-----	-------	--------

皆さん、出席してください。

いと、バランスがとれるようになりました。今では好きなスポーツの一種です。

そんな楽しい湖での生活も約10日で、普通の家に引っ越しをし、学校が始まりました。正直最初の1週間は辛いことが多かったです。ホストブラザーに友達を紹介してもらって、学校が始まる前に遊びに行ったので友達はいたのですが、学校が広すぎて迷ったり、学校のいろんな仕組みもわからなかったり、授業がわからないし、休憩が短すぎてトイレに行く時間もない。そのような感じで、日本に帰りたいとは思わないものの、お昼ご飯の友達と過ごす時間以外は本当に嫌でした。しかし、そんな学校生活にも一週間経つと慣れ、余裕をもってトイレに行くこともできるようになりました。学校の行事で驚いたものはhomecomingやpromです。Homecomingでは、一週間毎日〇〇dayと決められていて、例えばpajamas dayであれば、パジャマを着て学校に来るなどです。また大きいフットボールの試合もあり、その前にはパレード、最後には学校のランチルームでダンスパーティーです。Promというのは、 juniorとseniorと juniorとseniorに誘われた下級生だけのための卒業前のダンスパーティーです。これは学校をするのではなく、ホテルなどで行います。学校が開催しているダンスパーティーなんて日本では考えられない!と思ったのですが、一度行ってみると案外楽しかったです。ドレスをきたり、髪をお姫様のようにセットしてもらったりと、日本じゃできないことを経験できました。友達とのドレスのショッピングも楽しかったです。

11月には、Thanks givingという感謝祭があります。家族が集結して七面鳥、たくさんのご馳走を食べるのですがその量には驚きました。そして12月にはクリスマス。私のホストファミリーは毎年クリスマスの時期に、ミネアポリスに行き一泊します。その時にお父さんから\$100ずつ渡されて子供同士でプレゼントを買いあうのが恒例らしいです。私は一番上のお兄ちゃんにプレゼントをあげることになって、選ぶのは大変だったけど、ほかの兄弟も手伝ってくれて楽しく選べました。それだけでなく、クリスマスが近づくにつれてクリスマスツリーの下にプレゼントがどんどん多くなるのにテンションが上がりました。日本ではこんなに多くのプレゼントをもらったことがなかったので。他にも友達とわざとおかしなセーターを着てクリスマスパーティーをしたりもしました。冬になるとミネソタには雪が降り、あたり一面真っ白でした。和歌山ではあんな量の雪を見たことがなかったので、小さい子供のように雪だるまを作ったりしてはしゃぎました。雪がたくさん降るほどなので、家の中や学校の中は暖かいといっても、一歩外に出ると耳がちぎれそうになるほど寒かったです。そんな中でも新しく挑戦して好きになったことがあります。それはアイススケートです。それまでしたことがなくて、はじめは全く滑れずにすぐ転んでしまいましたが、少しずつ少しずつ滑れるようになりました。

楽しい学校生活もあっという間に過ぎて、6月8日に卒業式がありました。アメリカの卒業式は日本のとは全く違い、自分が留学生としてでも、その場に、舞台上に立てたことが嬉しかったです。卒業式が始まった後すぐに私は日本語で簡単なスピーチもさせていただきました。その卒業式の前には、バンドで最後のコンサートもありました。そのコンサートでは、私が日本から来たということで、日本の曲を吹く事になり、しかもその曲はとても思い出のある曲なのでそんな曲でアメリカのバンドを締めくくって本当に良かったです。またそのコンサートでは、バンド全体で一番上手な子、ジャズバンドで一番上手な子、一年間バンドのために頑張ってくれた子を3人、投票で選ぶのですがなんとその3つ目の賞に私が選ばれました。まさか自分が選ばれると思わず、舞台上で自分の名前が呼ばれたときは何が起きているのか理解できませんでした。その最後のバンドコンサートは私の一生の思い出です。

この一年間で私が学んだことは、英語でのコミュニケーションの取り方ももちろんそうですが、アメリカでの生活や文化、アメリカの学校の授業のように自分から進んで意見を言える主張する力、感謝する気持ちなど本当にたくさんのことを学びました。この一年間で学んだことをこれからにどうつなげるのか自分でしっかり考え、将来に役立てたいと思っています。私がこういった貴重な体験をすることができたのはたくさんの方、ロータリーの皆さんのおかげです。本当に感謝します。ありがとうございました。

## 社会奉仕事業

# 「こぼと学園」夏まつりの応援

新世代委員長 赤井 雅哉  
社会奉仕委員長 吉田 篤生

和歌山東ロータリークラブの社会奉仕事業の大きなテーマである標記の事業が、9月8日(土) 18:00より同園のグラウンドで開催されて、当クラブも応援参加致しました。

1. 当日は参加総人数が約500名で大変な盛況でした。
2. 応援、参加の夜店ブースは12店でそれぞれ協力、努力されました。
3. 特に昨年より始めた「和歌山東ロータリー抽選会」が殊のほか人気となり、終了まで帰る人なく、当選No.を発表するごとに、どよめきと歓声で盛り上がりました。
4. 今年は舞台も設営されてカラオケ等を楽しむ方々も沢山ありました。
5. 当クラブよりの応援費は、赤井新世代委員長より、こぼと学園森本園長に贈られました。



▲こぼと学園夏祭り  
大勢の参加で盛り上がっています。

◀東ロータリー抽選会の模様

## ポール・ハリス語録



ポール・パーシー・ハリス  
(1868～1947)

社会奉仕を避けようとする人が、立派な市民と主張するのが正当でないように、クラブの区域である都市の福祉に無関心なロータリークラブは申し分のないロータリークラブの域に達していません。

ロータリアン誌1915年11月号